

地震一口メモ No. 210

長周期地震動に関する情報の強化

令和5年2月1日から情報が強化されます

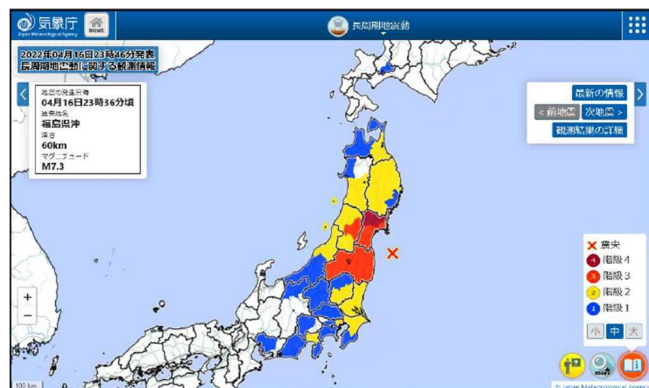
長周期地震動という言葉を知っていますか。長周期地震動とは、大きな地震で生じる、ゆっくりとした大きな揺れ（周期が長い揺れ）のことをいいます。通常の短い周期の地震の揺れと異なる、長周期地震動により、高いビルは大きく長時間揺れ続けることがあります。また、長周期地震動は遠くまで伝わりやすい性質があり、地震が発生した場所から数百 km 離れたところでも大きく長く揺れることがあります。長周期地震動による被害を軽減するために、令和5年2月1日から、長周期地震動に関する情報について、2点強化されます。

1点目は、緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級の予測値を追加します。長周期地震動による被害の可能性がある場合も緊急地震速報を発表するよう、予想される長周期地震動階級を、緊急地震速報の発表基準に新たに追加します(表参照)。長周期地震動階級3～4の揺れでは、家具の転倒・移動により大きな被害が発生するおそれがあります。長周期地震動階級の基準による緊急地震速報が発表されても、伝え方や見聞きした際にとるべき行動は変わらないので、慌てずに身の安全を守ってください。

表：長周期地震動階級の基準追加後の緊急地震速報（警報）の発表条件・続報の更新条件
赤字：変更点

発表条件	地震波を2点以上の地震観測点で検知し、最大予測震度5弱以上と予想した場合 または 最大長周期地震動階級3以上と予想した場合
続報の更新条件	緊急地震速報が未発表の地域で、 最大震度5弱以上と予想した場合 または 最大長周期地震動階級3以上と予想した場合
発表対象地域	強い揺れ（震度5弱以上 または長周期地震動階級3以上 ）を予想した地域及び震度4を予想した地域

2点目は、長周期地震動に関する観測情報の発表が迅速化されます。気象庁HPでの掲載に加え、オンラインによる配信を開始し、現在、地震発生から20～30分程度を要している長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化し、地震発生から10分程度で発表します。高層階での被害の可能性を把握するなど、様々な防災対応へご活用ください。



図：リニューアル後の長周期地震動観測情報ページ

気象庁HP

○報道発表資料 長周期地震動に対応した防災
気象情報の強化について：

https://www.jma.go.jp/jma/press/2210/26b/20221026_lpgm_start.html

○長周期地震動について：

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/choshuki/index.html>

気象庁は適時適切に防災情報を発表します
強化される情報について知り、様々な防災対応へご活用ください